



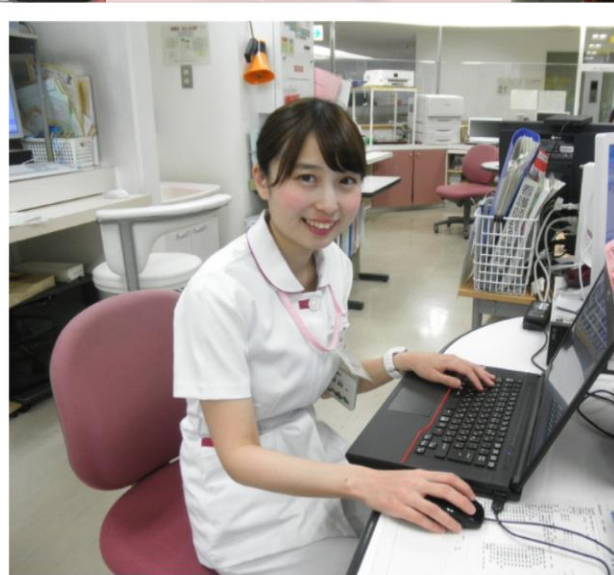
6階東病棟(消化器内科)勤務 山田 果林さん
北海道文教大学 人間科学部看護学科 卒業



カンファレンス



点滴の準備・実施はPDAを使って確実に確認しています



入院された患者さんから情報収集 患者さんとしてしっかり向き合ってお話を聞いています。

医師とのコミュニケーションもOK!!

Q 市立札幌病院を就職先にした理由は？
 急性期病院であることといろいろな疾患を持っている患者さんの看護が経験できること、一番重要と考えたのは教育体制についてですが、ステージに沿って進められ、技術なども根拠に基づいて行われているので決めました。また、4年生の時に、市立病院に勤めた先輩の話聞く機会がありいいなと思いました。



Q 入職してどうですか？

配属部署ではマンツーマンで先輩がついてくれ、細かいアドバイスを受けることができました。どうしたら患者さんに個性のある看護を提供できるかアドバイスをもらえるだけでなく、私が苦しいことも丁寧に教えてくれます。

Q 困ったこと、不安なことはどのように対処したの？

困ったことは、先輩に相談しています。同期が6人いるので、年齢は違っても困っていることは同じで相談し助け合っています。看護師長さん、副看護師長さんも声をかけてくれ、健康にも気を使ってくれます。

Q 看護をして嬉しいと思うのはどんな時？

患者さんに「ありがとう」と言われた時が嬉しいです。亡くなる方が多い科ですが、患者さんの希望に沿うことができたとき良かったと思います。最初は、患者さんが亡くなると辛くてショックを受けましたが、大切な時間を過ごしていただけるようにしたいです。患者さんを担当できるのか不安も大きかったですが、先輩に相談しながら患者さんの思いや希望について話を聴けるようになりました。

就職先を考えている看護学生さんに一言
看護師一人一人が患者さんの思いを大切に、
根拠をもち看護を実践しています。
患者さんに満足していただける看護を一緒にしましょう!!
待っています。

